

郷中だより

令和 2年 3月 12日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第 26 号

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、3月2日以降、臨時休業になりましたが、登校日に元気な姿で会うことができ、安心してました。

生徒のいない学校は、活気がなく物足りないです。先生たちも皆さんに会えない生活に慣れず、授業もできず寂しそうです。皆さんにとっても、クラスの友達と急に会えなくなり、寂しい日々を過ごしていることでしょう。

しかし、こんな時こそ、自主性が育ったり発揮したりできる時です。

- ・規則正しい生活を送っていますか⇒1日の計画を立てて、実行できる日を伸ばしてみよう。
- ・昼食に好きなものばかり食べていませんか⇒手軽にできる自己流サラダを工夫してみよう。
- ・ゲームやスマホの時間は適正ですか⇒家庭のルールを見直してみよう。
- ・運動不足になっていませんか⇒気分転換に散歩をしよう。

普段、時間がなくてできなかったことができるチャンスです。時間を有効に使って、自分を高める何かを探して実行しましょう。

3年生のみなさん ご卒業おめでとうございます



明日の卒業式には、在校生や地域でお世話になった方々と一緒に、3年生の門出をお祝いしたかったのですが、在校生と来賓の方々などが参加できない異例の式になります。3年生にとってはもちろんのこと、在校生にとっても、先輩たちと過ごせる最後の特別な日がなくなり、残念な気持ちだと思えます。

3年生は、学校行事では全校の中心となって後輩たちをリードし、委員会活動や部活動では、後輩がわからなくて困っていたり、自分一人では解決できないことを相談したりすると、すぐに解決方法を教えてくれました。1,2年生にとっては、3年生をお手本として生活していると、まちがった方向には行かないだろうという信頼感がありました。

縁あって同じ時代に、同じ屋根の下で出会った先輩を祝う気持ちは、式に同席するしないにかかわらず変わらないはずです。地域の方々も、ご自宅で皆さんの門出を祝ってくださることと思います。

3年生の皆さんにとって、明日は特別の日。自分が中学校で頑張ったことを思い出しながら、堂々と晴れやかな気持ちで巣立ってほしいと思います。この学年の人たちの義務教育の始まり(小学校の入学式)は、東日本大震災の直後だったのです。9年の間にそれぞれの人それぞれがそれぞれの苦難を乗り越えてきました。本来ならば、一人一人のがんばりに「おめでとう」と言って、卒業証書を手渡したかったのですが、明日は、代表の鳥羽さんに63名への気持ちを込めて渡します。教室でその気持ちを受け取ってください。

また、担任の先生の呼名に対する返事や校歌は、中学校生活最後の返事であり、校歌です。家で過ごす時間より長く一緒に生活してきた皆さんとのお別れは、一言では表現できないほど複雑で寂しいものです。特に担任の先生は特別な思いを込めて名前を呼ばれます。きっと皆さんにとっても、特別な気持ちを込めた返事になることと思います。式後に全員が晴々とした気持ちになれることを願っています。そしてこれからは、自分の人生を楽しんでください。

